

さいたま赤十字病院 院外報

かがやき

FREE
ご自由にお持ちください

Vol. **57**
令和4年度
1号

病院長 就任挨拶

将来にわたり 持続可能な病院運営を

院長 清田 和也



Contents

- 病院長 就任挨拶 P2
- 副院長 就任挨拶 P3
- 第二脳神経外科部長 就任挨拶 P3
- 当院の災害に関する取り組み P4
- 総合支援センター便り P5
- 職員紹介 P6
 - ▶ 日本赤十字社本社で3年勤務してきました
- お仕事紹介コラム P7
 - ▶ 検査部 臨床検査室の国際規格を取得しました
- 患者さんの声 P8



日本赤十字社 さいたま赤十字病院
Japanese Red Cross Society



将来にわたり持続可能な病院運営を

令和4年4月、安藤昭彦前院長を引き継ぎ、さいたま赤十字病院の院長を拝命いたしました。

当院は昭和9年に「日本赤十字社埼玉支部療院」として77床で創立され、本年で88周年を迎えます。600床以上の病院としては県下で最も歴史の長い病院です。下記表に示す通り、小生が10代目の院長となります。伝統ある病院の管理者として諸先輩方の積み上げてきたものを更に発展させていくべく、微力ながら努めさせていただきます。

思い起こせば私が当院に救命救急センター長として赴任してきた平成15年はさいたま市が合併し誕生した2年後、政令指定都市に移行した年であり、当院の名称も「大宮赤十字病院」から「さいたま赤十字病院」へと改称した年でした。

平成29年にさいたま新都心医療拠点に移転開業して5年が経過しました。高度救命救急センターや総合周産期母子医療センターへとそれぞれバージョンアップし高度急性期機能をさらに明確化、5疾病5事業を中心とした高度急性期医療が当院の役割であると位置づけ取り組んで参りました。

この2年間は新型コロナウイルス感染症の対応のため、一部機能の制限を余儀なくされ、患者さんや地域の医療機関の方々にご迷惑をおかけしています。

これからもこれまでの事業方針を継承し、将来にわたり持続可能な病院運営を行っていきます。働き方改革を始め当院のとりくむべき課題は今後も数多くあり、全職員一丸となって解決していく所存ですので、皆様のご支援をお願いいたしたく存じます。



院長 清田 和也

専門分野

救急医学
集中治療
脳神経外科

略 歴

- 昭和38年(1963年)
群馬県高崎市生まれ
- 昭和63年(1988年)
東京大学卒業
- 東京大学医学部附属病院、
公立昭和病院、
東京都立墨東病院を経て、
平成15年(2003年)
さいたま赤十字病院勤務
- 集中治療部長、救急部長、
高度救命救急センター長、
副院長を経て、
令和4年度(2022年度)
より院長。

所属学会・資格等

- 帝京大学客員教授
- 日本救急医学会指導医・
専門医
- 日本脳神経外科学会専門医
- 日本集中治療医学会専門医
- 日本外傷学会専門医
- 日本中毒学会代表理事
- 埼玉県メディカルコントロール
協議会副会長

歴代病院長と在籍期間

1	昭和9年5月15日～ 10年5月23日	塩谷 不二雄
2	昭和10年5月24日～ 13年8月5日	板津 饒
3	昭和13年8月6日～ 48年3月31日	島 清一郎
4	昭和48年4月1日～ 60年3月31日	加納 寛一
5	昭和60年4月1日～ 62年3月12日	平島 準
6	昭和62年4月1日～ 平成7年3月31日	横田 修
7	平成7年4月1日～ 14年3月31日	大久保 行彦
8	平成14年4月1日～ 28年3月31日	加藤 泰一
9	平成28年4月1日～ 令和4年3月31日	安藤 昭彦
10	令和4年4月1日～	清田 和也



副院長 就任挨拶

地域の皆様とともに働き方改革



副院長 高橋 俊栄
(兼) 第一脳神経外科部長

令和4年(2022年)4月1日付けで副院長を拝命しました。平成10年(1998年)1月1日、医師になって8年目の終わりに、脳神経外科専門医を取得、博士論文にもめどが立ち、当時の大宮赤十字病院に赴任しました。今年で25年目になります。平成10年当時、医師は130人程度、救急科の医師は皆無で、多発外傷の管理は、脳に小さな出血性変化があれば首から下の方が重症でも脳神経外科での管理でした。いまでは、医師数は230人を超え、救急科の医師数は30名近くとなり、開頭術は脳神経外科で行いますが、周術期を含め頭部外傷の入院治療および多発外傷の管理は救急科と、院内で診療科間のタスクシフトが進みました。

各種カテーテル治療、内視鏡手術、ロボット手術などの低侵襲治療や各種癌に対する化学療法・定位的放射線の進歩などは、患者さんに福音であることは間違いないのですが、一つの医療機関で病期のすべてのステージで対応するのは困難で、治療を行う急性期、その後の回復期、維持期と地域医療機関との連携が欠かせません。また昨今の新興感染症の流行も地域における医療機関連携の重要性を再認識するものとなりました。

令和6年(2024年)4月から医師に対する時間外・休日労働にも上限規制が適用されます。この働き方改革は、一病院で成し遂げられるものではなく、地域医療機関との連携を益々密として、医療機関受診に関する患者さんのご理解を頂きながら、地域全体で進めていくものと考えています。地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。



第二脳神経外科部長 就任挨拶

迅速な対応を心掛けた診療体制



第二脳神経外科部長 野下 展生

令和4年4月1日より第二脳神経外科部長を拝命いたしました野下と申します。私は平成7年に東北大学を卒業後、東北大学病院や関連施設での勤務を経て平成20年から当院に赴任となり、当地さいたまに来て14年になります。

当科では脳血管障害や脳腫瘍、頭部外傷などの患者さんを中心に治療を行う機会が多いですが、すでに神経症状を生じている患者さんには迅速な対応が必要となります。脳卒中については脳神経内科と連携して救急診療にあたり、頭部外傷に関しては救急科と連携して全身管理と外科的治療などを役割分担しながら24時間体制で適切な治療を行うようにしています。一方、未破裂脳動脈瘤や脳腫瘍および下垂体疾患、三叉神経痛や顔面けいれん、脊髄疾患、水頭症などで非急性の経過の患者さんについては、外来で外科的治療の可否についてよく検討したうえで治療方針を決定しています。受診予約が入りづらい場合には脳神経外科の外来にお問い合わせいただければ緊急度に応じて対応するように致しますので、是非ご一報ください。

また、頭痛の患者さんの診療にも力を入れております。片頭痛の新規治療薬である抗CGRP製剤をはじめとした様々な予防薬で難治性の頭痛にも対応するようにしており、頭痛でお困りの方がいらしたらご相談ください。

これからも近隣の診療所、病院の先生方との連携を密にして地域の医療に貢献したいと考えておりますので、地域の皆様にもご理解、ご協力をお願い申し上げます。

当院の災害に関する取り組み

救護社会課 田村 勝



埼玉県防災ヘリコプター着陸訓練の様子

首都直下型地震が今後30年間に起こる確率は約70%とされています。(※)

これは政府が示している数値であり、いつ大規模災害が起こってもおかしくない状況です。

当院は基幹災害拠点病院として、災害時には埼玉県内の災害時医療の中心的な役割を担います。そこで当院の災害に関する取り組みを紹介します。



院内総合防災訓練の様子

例えば建物は免震構造であり、ライフラインを維持するため非常用自家発電装置を保有し、給水が停止しても地下水が使用できる等の様々な設備があります。大規模地震等が発生し多数の傷病者が来院しても、受入ができる体制を取っています。

診療体制は、通常とは異なり新たに診療エリアを設置し、来院した傷病者を重症度別にトリアージ（選別）し各診療エリアで処置を行います。

当院では平時より災害直後から活動ができる機動性を持った医師・看護師・業務調整員（医師・看護師以外）から構成される災害派遣医療チーム（DMAT）を4チーム編成し、さらに医師・看護師・事務員・薬剤師等合計9名で構成される赤十字救護班を4班編成しており、迅速に被災地域に医療チームを派遣し救護活動ができる体制を取っています。

冒頭でも記述したとおり、災害はいつ起きてもおかしくありません。そのために、コロナ禍ではありますが当院では十分な感染対策を取り、職員に対する訓練・研修を実施し災害時に迅速に対応できるよう努めています。

(※) 2020年地震調査研究推進本部地震調査委員会報告より



日本赤十字社埼玉県支部救護班要員研修会の様子

がん相談支援センター

がん化学療法看護認定看護師
認定がん専門相談員 **松島 涼香**

がん相談支援センターでは、がんに関するさまざまな相談をお受けしています。当院受診の有無に関わらず、患者さんやご家族、地域住民の皆様、医療機関等からのご相談に応じています。相談は予約制で、面談または電話で行っております。匿名での相談も可能です。なお担当医に代わって治療を判断する場ではないことを、ご理解いただきたく存じます。

がんと診断される前からの不安な気持ちや治療法の選択、日常生活や仕事の悩み、経済面の心配、セカンドオピニオン、療養場所の選択等、何を相談したらよいのか分からず「こんなこと相談していいのかな？」と思うことでも大丈夫です。不安な気持ちや悩んでいること、困っていることをご相談ください。相談者の思いを大切にしながら、また相談内容によっては相談者の了承を得た上で、院内外の方と連携を図りながら一緒に考えていきます。

がん相談

相談方法 電話または面談

予 約 お電話または対面での
ご予約をお願いします

費 用 無料

相 談 日 月曜日～金曜日
(但し、病院休診日を除く)

時 間 9:00～16:30

場 所 2階⑩総合支援センター内 相談室

電 話 048-852-2861



がん患者さんご家族のための 「仕事」と「家計」の悩み相談

治療を受けながら仕事をすることや、家計のことで悩んではいませんか？

治療と仕事の両立、休職・復職・退職等の『仕事』に関することや社会保険制度、住宅ローン、教育費等の『家計(経済)』に関するお悩みに対して、専門家(社会保険労務士とファイナンシャルプランナー)による相談会を毎月1回開催しています。当院のがん専門相談員も同席し対応しています。専門家の方からは、分かりやすい制度の説明や仕事や生活をしていく上でのアドバイスをいただけます。

なお、こちらの相談会は当院におかかりのがん患者さんご家族のみとさせていただきます。何卒ご了承ください。

相談日 毎月第2水曜日
(休日の場合は別日に振り替え)

時 間 ① 13:30～14:20 ② 14:30～15:20
③ 15:30～16:20

場 所 2階 ⑩総合支援センター 相談室

対 象 当院におかかりの、がん患者さんご家族

費 用 無料 事前予約制

電 話 048-852-2861

相談員 : ①社会保険労務士「仕事」に関する相談
②ファイナンシャルプランナー
「家計(経済)」に関する相談
当院がん専門相談員



がんサロンほほえみ 図書・情報コーナー (2階 再来受付機向い)

がんに関する冊子やパンフレット、書籍を取り揃えています。冊子やパンフレットはご自由にお持ちいただけます。書籍につきましては、室内での閲覧をお願いしておりますのでご了承ください。またパソコンを設置して、インターネット環境も整備しています。がんに関連する情報の閲覧にご利用ください。



『がんサロン』は、がん患者さんやご家族の方が日ごろ抱えている悩みや体験、心配ごとを自由に語り合うための場として、また外見のケア(アピアランスケア)といって、治療に伴う副作用に対する悩みや相談(ウィッグ、爪ケア、スキンケア等)の場として開催していましたが、現在は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、開催を見合わせております。

がんサロンへは、「自分だけがこんな思いをしているのかな?」「みんなはどうしているのだろう?」と不安や悩みを抱える方が多く訪れます。思いを共有することや外見のケア方法を知ること、気持ちを和らげてくれることがあります。

再開の時期につきましては当院ホームページをご確認いただくか、がん相談支援センターまでお問い合わせください。



日本赤十字社本社で 3年間勤務してきました。

医療安全推進室
専従リスクマネージャー 福田 真弓

日本赤十字社の病院グループは、全国 91 の赤十字病院からなり、各施設は独立採算制によって運営されています。日本赤十字社本社は大きく4つの事業部門（医療事業推進本部、事業局、総務局、血液事業部）に分かれ、主に病院などの医療施設に関連した事業を医療事業推進本部が中心となり担っています。

私は平成 31 年 4 月から令和 4 年 3 月までの3年間、日本赤十字社医療事業推進本部病院支援部（医療課感染対策係）で勤務をして参りました。

令和元年 12 月より全世界に瞬く間に蔓延した新型コロナウイルスによる感染症（COVID-19）は、日本国内でも患者が増加し重症者や死者が出ました。日本では感染対策への取り組みが以前から遅れており、今回その脆弱性が浮き彫りになったと思われます。

院内感染対策における体制強化及び連携推進

日本赤十字社では、早期から感染対策に取り組んでおり、感染対策専門部会を組織し本部に感染対策係を設置しております。赤十字のスケールメリットを活かし、COVID-19 対応では早期から感染状況調査を実施し、各医療施設の感染状況を把握しました。感染者発生時には随時報告を受け集約し、分析ツール（クリックセンス）によって情報の分析・共有を行いました。ワクチン関連では、ワクチン副反応集計及びその対応について情報収集し周知・共有しました。また感染対策専門部会と連携し、各医療施設の COVID-19 対策やクラスター対応、感染症アウトブレイク事案等についての相談内容に幅広く即時に対応し、施設からの要請や必要時には本部から感染対策支援派遣を行うなど、院内感染対策における体制強化及び連携推進を目指した支援に取り組んで参りました。また医療施設内では対応困難な症例に関し、感染管理相談ネットワークを活用した支援の実施や、業務支援課と協同した感染対策防護具等の医療資材の品質確認や調達・提供の支援を行って参りました。

さらに本社社屋 ICT（感染対策チーム）として、感染対策、館内ラウンド等を実施しました。その結果、本社ではクラスターが発生することなく経過しました。



令和 4 年 4 月より医療安全推進室勤務となりました。患者さんが安心して安全な医療を受けられるように、また職員が安心して働ける環境を整えるために、室長、医療安全管理課と協同して、本社での経験を生かし医療の質向上と安全な医療を提供するサポートを行って参ります。

検査部

令和3年12月 ISO15189:臨床検査室の国際規格を取得しました。

信頼性のある正確で精度の高い検査データを提供する能力の証明

【当院の認定番号＝ RML02700】

検査部では厚生労働大臣認定の国家資格を取得した臨床検査技師が、医師の指示のもと、様々な検査を通して病気の診断や治療効果の判定などを行うために必要な情報を、検査結果として提供しています。



生化学・感染症・免疫系検査

血液や尿、髄液、胸水などの検体を用いて様々な検査を行っています。血糖値や肝機能、腎機能、脂質系などの生化学成分を迅速かつ正確に測定し、病気の診断や薬物投与の効果、治療効果の確認のための情報提供を行っています。感染症や腫瘍マーカー、甲状腺機能ホルモン、婦人科関連ホルモンなどの免疫学的検査についても高感度測定のための自動分析装置を用いて迅速に検査を行っています。



血液・凝固検査

赤血球数やヘモグロビン量などから貧血の有無や、白血球数から炎症の程度などを把握できる血球算定検査、また、白血球の形態分類を自動分析装置を用いて迅速に測定しています。機械で分類できない形態については、直接、臨床検査技師が顕微鏡を用いて分類しています。血栓症の治療で使用している薬の効果や、手術前検査として血液凝固、線溶検査も迅速に行っています。



輸血検査

血液型の判定や不規則性抗体検査、輸血時に必要な交差適合試験などを行っています。また、輸血用血液製剤の管理業務も行っています。

細菌検査

採取した検体（血液、尿、便、喀痰など）を培養し病気を引き起こす細菌などを探します。病原菌が検出された場合は、何の抗菌薬が治療に効果があるのか「薬剤感受性検査」を行います。

生理機能検査

心電図・運動負荷心電図（不整脈や狭心症などの診断）・脳波（神経の診断）・血圧脈波・眼底写真検査（動脈硬化や糖尿病などで血管系に起こる変化）・呼吸機能検査（肺や気管、気管支の状態）・超音波検査（臓器や胎児の状態）など、様々な検査を患者さんのご協力のもと実施しています。



当院の理念でもある

「赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます」
を実践できるよう、検査部一同、医療の質の向上に努めて参ります。

検査部 技師長 岡本 直子



患者さんの声に お答えします。

ご意見

今回、5/1 昼から緊急入院しています。想定外で着の身着のまま持ち物も少なく、お金も持参してなかったの、何も買えず困った状態で入院しています。私は身内がいなく、友人・知人にも差し入れを頼めません。そういう境遇の人間に図書貸出制度とかがあれば、時間を有意義に過ごせると思ったので、この度、意見書を提出させてもらうことにしました。是非参考にして下さい。実施実現を強く願っています。

レンタル商品で髭剃りもあれば便利だと思いましたので補足します。

お答えします

この度は、ご不便をおかけして、大変申し訳ありませんでした。せっかくのご意見ですが当院では図書の貸出や髭剃りのレンタルは行っておりません。ご理解のほどお願い申し上げます。

ご意見

” 博愛の精神 ” すごく感動いたしました。

” 感謝 ” このご時世に受け入れて頂きましてありがとうございます。外来で病状の説明をして頂いた時、不安もなく信頼関係ができました。先生方スタッフの皆様誠実で謙虚和合で、患者さんの接し方、手術室へ師長さんが付き添って下さり安心感（少し会話ができ）、術後もナースの方が優しい対応、食欲がなくても回診時〇〇先生の一言「無理しなくていいよ」とポジティブなセラピーになりホッとしました。その時に頑張って食べなさいとのアドバイスならばきっと負担になっていたと思います。おいしい食事よりも回診が待ち遠しくなりました。術後の痛みも「我慢しなくていいですよ」とスタッフの皆様に励まされ安心感。人の助けが必要になった時、これまでの反省と心底感謝。内科の〇〇先生、〇〇先生方の素晴らしい人間の心を再発見。スタッフの皆様の対応が素晴らしいです、お世話になりました。娘より一言（ナースさせて頂いてます）主治医を信頼できるって最高の治療だねって！

ウクライナに祈りを運びながら今日も平和を祈ります。ありがとうございました。感謝（家族にも）

P/S もっと社会貢献できるひとにならせていただきます。（自分自身）生涯忘れられません。〇〇先生もスタッフの皆様も最高！

お答えします

この度は、職員に対して大変励みになる温かいお言葉をいただきありがとうございました。



さいたま赤十字病院の理念

赤十字の人道・博愛の精神に基づき、信頼される医療をおこないます。

さいたま赤十字病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重します。
2. 地域との円滑な医療連携に努めます。
3. 医療の質の向上に努め、安全な医療を提供します。
4. 優れた医療人の育成に努めます。
5. 健康経営を推進し、働きやすく活気あふれる職場作りに努めます。
6. 国内及び国外での医療救援活動に積極的に参加します。

患者さんの権利

1. 公平で適切な医療を受ける権利
2. 個人の尊厳が保たれ、人権を尊重される権利
3. プライバシーが守られ、個人情報保護される権利
4. わかりやすい言葉で検査や治療などの説明を受ける権利
5. 自己の決定権が確認され、医療行為を選択する権利
6. 安全・安心な医療を受ける権利
7. 他施設の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞く権利
8. 自己の診療記録等の開示を求める権利

患者さんに守っていただく事項

1. 健康に関する情報を医師や看護師等にお知らせください。
2. 医療行為については、納得したうえで指示に従ってお受けください。
3. 病院内ではルールを守り、他の人に迷惑にならないよう行動してください。
4. 診療費の支払い請求を受けた時は、速やかにお支払いください。